

## 豊かな地域療育を考える連絡会 報告とお知らせ



第197回定例会を1月19日(木)に年間予定通り実施しました。Zoomによるオンラインで参加者は31名でした。

部会は【①学校部会 ②幼児小学生部会 ③放デイ部会 ④保護者部会 ⑤医ケア部会】5部会を実施しました。

### 1. ミニ学習会について

○ 予定していたが出来ていないのが、ミニ学習会の「防災」。今年度だとあと2月、3月しかチャンスがない。講師は川崎市防災担当の広岡さんをお願いしようということでお名前は挙がっている。広岡さんと連絡を取る担当の谷さんから聞いてもらって可能であれば実施していただく。今年度の宿題を積み残さないということに対応できるとよい。

防災の「これ」について聞きたいという具体的なことがあれば、要望しやすいのだが・・・。

・障がい者の避難についてどういう段取りで準備が進められているか、現段階で川崎市で合意が出来ていることを教えてほしい。

・事業所の心配は、避難所に本当に連れて行くのか？ということ。←通ってきている子どもは小学校だけで4つ。預かっているところは区全域なので、事業所の近くの1つの町内会のところでいいのか？ということ。

### 2. 事務局より

○ ハンドブックの件

・昨年発行、販売してから1年が経つ。昨年の後半夏から冬にかけては動きがなく、月にひとりぐらい。規模の小さい動きになっている。これを活性化する。在庫はあるので、掲載されている資料の内容が古くならないうちにできるだけ活用してもらった方がよいので、宣伝の方法など提案があれば、実際に購入した人がどういう風に活用されているのか、買われた方達の声など聞きたい。

・麻生養護では3冊購入。保護者から悩みなどの相談があった時には、購入も出来るという風に紹介はしている。

・うちの子は今高校生だが、小学校の時にはハンドブックの存在が分からなかった。学校まで行っても保護者まで伝わっていないのではないかと。支援級の懇談会で先生方が使い方などレクチャーしてもらおうとよいのでは。保護者の立場で考えると学校の方から情報が降りてきていないのでは。学校でPRしてほしい。各学校には配っているのでは。

・各学校の支援級の先生方にこの情報が届いているのかな？という気がする。学校の中でどこまで共有されているのか疑問。支援級の懇談会で担任の先生方も困っているというお声も聞かれる。ハンドブックを活用してほしいが、ただ、販売という形になるのでそれがネックと考えている先生も。現場レベルでは話すことが出来るが学校単位ではどのくらい周知できているのか。窓口になっているのは放課後デイの方でお迎えのスタッフとか。支援級の先生に伝えていく意識を持ってもらうのも大事ななと思う。

・支援級の先生だけではなく通常級の先生も発達障害のある子たちのことで悩んでいる。その先生にどう伝えていくのか。自身の参加している勉強会で通

常級の先生も参加されていて、そこから良いスクールカウンセラーに繋がっているという事例もある。総合教育センターに紹介してもらおうのはどうか？

児童発達支援事業所がなかなか定例会に参加できないが、児発の事業所全体にどの程度お知らせできているのか？この辺に販路があるのかなと。学校に入る以前の問題が多々あると思うので。児童発達の事業所になんとかして配って、就学前に手に渡るようにすることが大事では。

・川崎市教職員組合の障害児教育部の買い取りで各学校に一冊づつ配布してもらった。学校全体で共有してほしかったのでスクールコーディネーター宛てにしたのだが。現物がいつているにも関わらず広がり少なかったと感じる。こんな風に活用している、助かっているといった、利用されている方たちからの体験談を書いてほしい。それを支援級に配っているわになろうの会報で紹介したい。

○ 部会をどうするのか？

・来年度のところは次回までの宿題として持って帰ってもらう。完全オンラインをこのまま持続するのか。前は人数が少なかったので部会を全体のフリートークにした。

・保護者部会と放課後デイで合同とか。新学期、卒業進学の時期なので4月の幼児・小学生部会と放課後デイと合同とか。いろいろなやり方があると思うので案を考えたい。

・今、定例会参加の連絡が直前の人が多いので予め部会の準備が出来ない。事前に話し合いたいこととか、希望があれば伝えてもらいたい。

○ 次回の部会、児発と放デイで話し合いたいとの提案に対し、全体会で話し合いたいとの意見あり。事務局で検討することになった。

### 3. 近況報告(紙面の都合で省略)

198回定例会は 2月16日(木) 9:30~11:30 (全面リモートで実施予定)

参加申込および問い合わせは、事務局044-455-7468 七川まで